

**多摩市キャンパス・マネジメント・アソシエーション設立準備会
運営支援委託
第7回 CMA 設立準備会 議事録**

1. 委員会概要

- (1) 日時：令和3年8月31日（火）15：00～16：50
- (2) 場所：多摩市役所東庁舎会議室
- (3) 委員会次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) スケジュールと本日の討議ポイント確認
 - (2) 運営計画書について
 - (3) その他
 - 3 閉会

配布資料

- 第6回 多摩市キャンパス・マネジメント・アソシエーション設立準備会 次第・委員名簿
- 資料1 令和3年度 活動内容・スケジュール（案）
- 資料2 第6回多摩市キャンパス・マネジメント・アソシエーション設立準備会資料（運営計画概要）

- 参考資料 第6回多摩市キャンパス・マネジメント・アソシエーション設立準備会議事録
- 参考資料 第1回メールマガジン内容

2. 委員会議事録

- (1) スケジュールと本日の討議ポイント確認（資料1）

—意見・質疑無し—

- (2) 運営計画概要について（資料2）

事務局	—資料2 説明—
-----	----------

- 1) 事例・活動目標に関する意見交換

委員	活動目標として具体的に記載されているが、事業者提案との関係はどのように考えるのか？
事務局	準備会としての活動目標は、事業者に提案すべき内容としてつめていきたい。具体的にどのような取組みを行うのかについては、運営計画の「活動計画」とも関連し、事業者との調整が必要と考える。
委員	準備会の提案が、事業者提案に左右されることを懸念する。

事務局	事業者からの提案が出てこないとすり合わせはできないが、調整すべき事案と認識する。
委員	事例は運営のあり方に偏っているようにも見える。準備会では、連携のあり方をつめていくと良いのではないか。
事務局	公園とまちづくりの視点でのマネジメント事例をピックアップしている。公園の管理はP-PFI 事業者が担うため、準備会で多摩中央公園の目線もふまえてエリア全体の検討をしていくものとする。
委員	前段については、事例や広域的な取り組みが整理されていてわかりやすいのではないか。
事務局	これまで頂いたご意見を反映していると認識している。齟齬があれば、改めてご意見を頂きたい。
委員	事業者の考えが見えていない中で、パルテノン多摩・多摩中央公園の一体的な取り組みとして行っていくのか。もしくは建築工事始まる中で、パルテノン多摩を先行して段階的に事例として作り上げていくのか。全体での取組みを一度に行うと、成果を出すことが困難になるのではないか。
事務局	一度にすべてを取り組むことができるとは思っていない。段階的にできるところから、少しずつ大きくしていくことが望ましいと考える。また、事例紹介が多摩にそのまま落とし込めるわけではない。総論的には異論はないと認識するが、最終的には事業者の意見踏まえて、調整を行っていく。
委員	目標はあるが、大前提とした目的が抜けている。 槻橋先生からの多摩中央公園に関する指摘があり、多摩センター地区の活性化や多摩中央公園の賑わいをつくっていくために組織を構成したという経緯であるが、目的が曖昧である。大前提の目的が必要ではないか。
事務局	目的と設立経緯を混同して議論している可能性もある。 目的は多摩中央公園とその周辺施設を利用者が利用しやすいよう連携させ、回遊性や賑わい創出につながるような取り組みを行っていくことと考えるが、組織の目的について、再度整理し、ご提示する。
委員	p7とp15の図（活動目標と事例の関係）を再度、説明して頂きたい。
事務局	本図では、これまで議論で頂いたキーワードを各活動目標として整理し、その目標のイメージとして事例の特筆すべき点を紹介している。 P-PFI と地区活性化を連携して進めることが、本組織の特徴である。そのために、施設や空間を活用していただく事例、施設利用者と連携するイメージの事例があり、その結果として利用者から活用主体に代わっていく事例を示している。段階を経て、施設利用者が活動主体になっていくことを示している。
委員	事例1～3の発展形が事例6のように聞こえるが、それが目指すべき姿という意味合いか。
事務局	それぞれの段階や目的の切り口で、事例を紹介している。多摩センター地区で、今後活動していく際も、段階を経て主体として関わることで、最終的に利用者が主体となり、誰もが利用したくなる空間を目指すことを示している。
委員	4頁の今後のスケジュールについて。多摩中央公園の再整備終了とほぼ同時に、Step3への展開を図れるとされているが、開園に至っていないStep2の中で、実際の活動や連携方策の検討を行うことは、現実的ではないのではないか。
事務局	指摘内容を精査して改めて提案したい。
委員	事例は活動計画に活かされるのか。
事務局	事例は活動目標の記載内容を具現化したイメージであり、事例をふまえて、本地区で実際にできそうな部分を検討していく。 組織の概要、活動目的、方向性は筋が合意できたと考えている。検討を詰めていった際に実際問題としてできる／できないの判断を委ねることになるので、今

	日の意見を受けて一度持ち帰らせてもらう。
事務局	組織の概要、目標、方向性は概ね合意を頂いた。 目的、目標の再精査と、Step3 への展開スケジュールについては、本日の意見を受けて事務局で再検討する。

2) キャッチフレーズ

委員	「コ・コロパークたま」は、良いと思っている。他施設と並んで遜色ないように提案されたことも理解した。地名を表す際に「たま」が良いのか、「多摩センター」が良いのかは悩ましいところではある。また、「パーク」という文言があるため、エリアのことを言っているのか、公園のことを言っているのかイメージがつきにくい印象もある。また、「コ」と「コロ」の間に「・」がなくても良いかもしれない。
委員	「コ・コロパーク」が個人的には良いと思う。「日常+α」は文字面から、何をいっているか想像しにくく、つかみ所がないように思う。
委員	「コ・コロパーク」のほうが良いと思う。「日常+α」は、少しわかりにくい。
事務局	「コ・コロパークたま」をベースに検討を進める。
委員	最終的には事業者がきまってから委員会で決定するのか、この場で決定するのか、明確にして頂きたい。
事務局	事務局内で確認する。

3) 組織構成

委員	「多摩センター地区連絡協議会」への公園や公園内施設の使い方に関するアンケート調査の実施については、事前に了解している。
委員	アンケートの実施期限はあるのか
事務局	現状では9月中の実施を予定している。準備会の取組として、結果の事業者への提供も考えている。
委員	事業者がどのような取組みを行うのかが不明確な中で要望を聞いても、提案内容と全く異なる意見が出る可能性もある。概ねの方向性が明確になってから、アンケート調査を実施した方が良いのではないか。
事務局	了解した。
委員	調査のタイミングが良い時期がきたら、改めて調整・協力させて頂く。
委員	構成メンバーは、1人1票か、一つの施設で1票か。組織と構成員の役割や位置づけについては、今後も理解を深めた方が良い。
事務局	指摘事項も含めて検討する。
委員	構成メンバーは、現在の準備会委員がそのまま移行されるといった、暗黙の了解があるのか。ブラックボックス化していないか
事務局	これまでの検討経緯を含めて、原則的には準備会委員には引き続き参画して頂くことで考えている。
委員	もともと、大学職員としての構成員だと連絡がありこの場に参加している。正式な構成員の認定は、大学を通じて受けることになる。 また、規約（案）には、会費を徴収する旨の記載があるが、大学法人としては9月に申請、12月に承認で次年度予算が確定していく流れであることを把握しておいてほしい。
委員	グリーンライブセンターの構成員として委員を担う話だったと思うが、委員会であれば学内統制が困難なことも想定される。
事務局	今回は規約を含め、再度議論いただく。

4) 活動計画

事務局	内容については引き続き精査を行いながら、事業者確定後に調整を進める。
-----	------------------------------------

5) 進捗確認

事務局	容易に収集可能な数値指標と Web アンケートで進捗管理することを提案しているが、実際の効果発現まで時間がかかる事は留意が必要である。 事業者確定後に検討を進める。
-----	---

6) その他

委員	組織の予算について。会費の話もあったが、持ち寄りや寄付のようなものを募ることもあり得るのか。お金がかけられないのであれば、やれることも限定的になる。費用負担だけなのか、人だけ出せばいいのかさえも、理解しきれていない。
委員	当初の CC 構想では、持ち寄りのイメージで進めていた。大きな課題の一つとして捉えている。議論しながら、活動が決まってから決めるのか、予算に応じた活動にしていくのか、庁内での議論をつめていく必要があると考える。準備会でもう少し議論を続けながら、次年度以降も継続して議論を続けるのが現実的かと思う。
委員	スケールの大きいことを議論していると現実的に見えないところも出てくる。まずはできるところから行っていき、お金がない中でやっていくことを前提として、予算がかかるものは後から考える進め方もあるのでは。議論の対象を絞ることも考慮に入れてみてはどうか。
事務局	ご意見踏まえて検討させていただく。
事務局	Zoom 講演会を企画中であり、9 月～10 月初旬頃の開催を予定している。改めて連絡する。
委員	P-PFI 事業者の受付を締めきった。審査前の状況で詳細には話せない。 今後、2 回以上の選定委員会を経て、10 月中旬以降、優先交渉候補者が決定。事業者確定へと進み、令和 4 年 2 月ごろ認定となる。
事務局	次回準備会は 10/27 (水) 午前中を予定。会場や時間は追って共有する。